

カトウ・サイン工業 創業100周年記念式典を開催 全社一丸で継続、躍進へ

カトウ・サイン工業(株) (本社新潟、加藤紘一社長)の創業100周年記念式典・祝賀会が、4月26日午前11時半から新潟市中央区の行形亭で開催された。



挨拶する加藤社長

来賓や業界関係者など全国から約1100人が参加した。記念式典は、出席者全員で記念の集合写真を撮影後、100年の変遷ビデオを上映、物故者への黙とうが行われた。挨拶に立った加藤社長は、これまでの100年の歴史を述べた後、「本日、創業100年を迎えることができたのも出席いただいた取引先をはじめ、協力会社、旧社員として現社員のおかげ。これからも、これまで以上のご支援・ご協力をいただきたい」と話した。



創業100周年記念式典会場

引続き、今後の展開に触れ「私は来年、古希を迎えるにあたり、今年5月の株主総会で代表取締役を退任する予定だ。今後は専務の加藤貴之、営業部長の加藤雅之を中心に社員が一致団結し、新しい100年に向かって全社一丸となり、粉骨砕身努力し、継続・躍進していく」と語った。

来賓の新潟市長・篠田昭氏(代読：高橋建造中央区長)、新潟商工会議所・福田勝之会頭(代読：竹石松次副会頭)の祝辞、祝電披露後、100周年記念寄贈品の目録贈呈が、加藤社長から高橋区長に贈られた。この目録は、主体的に社会に貢献する、という題目を掲げた同社が、その第一歩として新潟市に寄贈する道標サイン「六軒小路サイン」のこと。



謝辞を述べる加藤専務

山神社・小林慶直禰宜による祈禱が、厳かに行われた。祝賀会は小休憩をはき、午後0時40分から開催。古町芸妓による祝いの舞に続き、(公社)全日本ネオン協会・高村徹会長の乾杯で開宴。和やかな歓談のなか、加藤専務は「100年という歴史は、いまの社員だけで築き上げてきたものではなく、本日で参集頂いた皆さんの協力の賜物にある。100年続いてきた当社だが、今後も社員一同、誠心誠意を持って頑張っていきたい」と述べ、最後

「三園ファクトリー」新設 IJP 出力業務を強化

アフィックス

アフィックス(株) (本社東京、大島隆夫社長)は、大型IJPによるプリント出力を主業務とする新工場「三園ファクトリー」を東京・反町三

来の板橋オフィスが手狭になってきたため、2拠点生産に踏み切った。新工場は、1階が大型IJP、2階は大型の懸

を新設するとともに、板橋オフィスから出力幅3・2と5のUV機2台を移設している。オペレーターは5人体制。

オーマツト、三園ファクトリーはスーパーワイドフォーマットとしており、



大型IJPを移設・新設した新工場

カー・ラッピング・セミナー交流会 知識習得と施工訓練を実施

I K C

アイケーシー(株) (本社大阪、成瀬基樹社長、以下I K C)は、「第4回カー・ラッピング・セミナー」

い。今後も会社はもちろんのこと、新潟市の発展に寄与するとともに、サイン業界全体を盛り上げていきたい」と述べ、最後

講師を担当したI K C 統括マネージャーの米田厚司氏は、同社の4事業

交流会」を4月19日午前10時から埼玉・草加のI K C物流で開催。関東エリアの出力施工や板金塗装会社など11人が参加した。

新会長に和田光平氏が就任
近畿屋外広告美術組合連合会青年部連絡協議会(近広青連、藤本秀樹会長)の通常総会が、4月2日午後の時から神戸・

か、新役員が決まった。今年度の主な事業計画は、①サインエキスパート委員会に参画し、出版社勧誘のほか、物販や抽選、喫茶ブース、ウェルカムパーティの企画運営を担当、②日広青連総会



(マーキング、カー、ケソンソー、特販)を紹介し、「当社は、IJPから材料までの多岐にわたる販売網を構築していることに加え、ニーズの拡大が見込める自社開発の遮熱シート『Sombrilla(ソンプリラ)』を有しているというのが他社には無い強み。セミナーを通じて、全国にカーラッピング施工の協力店を設け、商用車をター

解浸透を図る、③様々な情報の即時共有と会員相互の交流を図るため、フェイスブックやLINEの利用促進」など。